

九州運輸局メールマガジン

平成 21 年 12 月 11 日 第 61 号（発行日：毎週金曜日）

～九州の明日を拓く運輸と観光～

九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

今週も九州運輸局メールマガジンをご覧ください。

目次

- 1．九州運輸局ホームページアップ情報（12月4日～12月10日掲載分）
 - トピックス
 - プレス発表
 - 入札・契約情報
 - 行政処分状況
 - バス・タクシー・トラック
 - 九州グリーン物流パートナーシップ推進協議会
- 2．お知らせ
- 3．現場レポート
 - 年末年始の輸送等に関する安全総点検が始まりました！
 - 「職員等向けのバリアフリー講習会」を開催
- 4．リレーコラム
- 5．編集長だより

【九州運輸局ホームページアップ情報】（12月4日～12月10日掲載分）

トピックス

- ・庁舎（事務所）移転のお知らせ（大分運輸支局海原庁舎）
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/topics/file012/file12b_oita.pdf
- ・「子育てと働く女性を支援するITS」シンポジウムが開催されます。
<http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/topics/files/091204.pdf>

プレス発表

- 《観光》
 - ・「第1回観光庁長官表彰」を実施します！（12月8日発表）
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091208.pdf>
- 《海事》
 - ・「マリンワーク in 唐津」開催！（12月9日発表）
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091209.pdf>

入札・契約情報

- ・企画競争実施公示
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

行政処分状況

- ・一般乗用旅客自動車運送事業者（平成21年11月分）
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/pdf/jyouyou09_11.pdf
- ・一般貨物運送事業者（平成21年11月分・過積載を除く）
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/pdf/kamotu09_11.pdf
- ・一般貨物運送事業者（平成21年11月分・過積載に限る）
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/pdf/kasekisai09_11.pdf

バス・タクシー・トラック

・タクシー事業関係公示等
(一般乗用旅客自動車運送事業(福祉輸送事業限定)の申請事業の審査基準
(平成21年11月26日付 一部改正)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file13/taxi02_1.pdf

九州グリーン物流パートナーシップ推進協議会
・メールマガジン 35号

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyuu_green/mail/pdf/mail_magazine/No_35.pdf

【お知らせ】

12月18日(金)北九州市において「ゆとりライフ八幡の元気再生ITSプロジェクト」シンポジウムが開催されます!

主催：北九州ストック型市街地推進協議会

ゆとりライフ八幡の元気再生ITSプロジェクトは、少子高齢化の進行が著しく、空洞化が懸念されている北九州市八幡東区の既成市街地の再活性化への課題解決を目指し、環境モデル都市・北九州市の先進実証地区として開発が進む東田総合開発地区と周辺地区とを新たな市民アクセスの手段としてITSを活用した「おでかけ支援乗り合いタクシー」と「カーシェアリング」「レンタサイクル」をコミュニティ交通で結び、パーソントリップの増大による地域活性化の可能性を実証実験として行うものです。

今回のシンポジウムでは、学識経験者・行政・事業者などによりコミュニティ交通システムにおける課題や、街づくり・地域活性化へ期待される効果などについて自由で活発な議論を行います。

ITS 高度道路交通システム (Intelligent Transport Systems)

参加ご希望の方は、氏名、住所、電話番号、勤務先・所属を明記のうえ、下記連絡先へメール又はFAXにてお申し込みください。

日時：平成21年12月18日(金) 14:00～
場所：九州国際大学 KIUホール(北九州市八幡東区)

お問合せ先：NPO 夢追いバンク
担当者 西村・山下 様
TEL：093-662-3900
FAX：093-662-3800
参加申込先アドレス：info@yumeoi-bank.org

本シンポジウムは内閣官房地域活性化統合事務局の「地方の元気再生事業」として行っている事業です。(九州運輸局担当案件)

【現場レポート】

年末年始の輸送等に関する安全総点検が始まりました!

九州運輸局では、大量の輸送需要が発生し、輸送機関に人流・物流が集中する年末年始の輸送の安全確保に万全を期すため、12月10日から来年1月10日までの期間、陸上及び海上の輸送機関を対象とした「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施します。

今回の重点点検事項は、

事故・事件等発生時の乗客等の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備・構築状況

危険物輸送及び乗客による危険物の持ち込みを管理するための体制整備状況

テロ防止のための警戒体制及びテロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備状況（特に、近年新たに講じたもの）

旅客等に対する及び職場における新型インフルエンザ感染防止体制の整備状況の4点であり、期間中管内の各輸送機関に対して立入点検を行う予定としています。

福岡市内では、初日の12月10日に2つの点検班に分かれ、陸上・海上の交通関係事業者に立入り、安全総点検の取組状況の点検等を行いました。

陸上輸送機関では、福本九州運輸局長をはじめとする7名の点検班が、午前中に西日本鉄道(株)福岡(天神)駅及び太宰府駅構内を点検し、利用客の安全確保に関する取組状況等を確認するとともに、特に最近増加している酔客が列車に接触したりプラットフォームに転落するなど人身事故について注意喚起しました。

午後からは安川タクシー(株)本社営業所に立ち入り、ドライブレコーダ等を活用した事故防止・安全教育に関する取り組みを確認した後、香椎パークポート・コンテナターミナルへ移動し海上コンテナトレーラーの緊締装置のロック状況等を視察、博多港運(株)本社営業所にて、コンテナ輸送の安全に関する取り組み等を確認しました。

福本九州運輸局長からは「年末年始で利用客が増大する時期を迎えますが、運送事業にとっての最大の使命は輸送の安全の確保であり、総点検の実施により事故防止に万全を期していただくようお願いする」旨の督励を各事業者に対して行いました。

海上輸送機関でも、午前中博多港において、カメラライン(株)の「ニューかめりあ」(総トン数19,961トン、旅客定員522人、博多港と韓国の釜山港を結ぶ外航旅客船)への立入点検を行いました。

澤山九州運輸局陣頭指揮の下、各執行官等10名が船内に立ち入り、運航管理やテロ対策、新型インフルエンザ対策が適切に行われているか、消防員装具のボンベの圧力は適正か、機関室の水密戸の作動に問題はないか等について点検を行ったほか、救命胴衣着用の手順が旅客に分かりやすく行われているか等についても確認しました。

また、海上に落水者がいたとの想定で実際に救助艇を進水させ、救助した後に医務室に搬送する訓練(救助艇操練)にも立ち会いました。

船長をはじめ乗組員の機敏な行動は、日頃の安全教育や訓練の成果であり、会社全体の安全への取り組み状況や乗組員各人の安全に対する意識の高さを確認することができました。

それぞれの立入点検にはテレビ局や地元新聞社から取材を受けるなど、安心・安全の取り組みに対する世間の関心の高さがうかがえました。

当日の様子の写真は、次のURLからご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_61_1.pdf

(総務部安全防災・危機管理官)

「職員等向けのバリアフリー講習会」を開催

九州運輸局は、障害者基本法に定められた「障害者週間(12/3~9)」の関連事業として、12月7日(月)に合同庁舎新館7階の海技試験場において、当局及び九州地方整備局の職員を対象とした「バリアフリー講習会」を実施しました。

当講習会は、バリアフリーに関しての理解を深め、ボランティアの意識を醸成

し、今後の行政及び普段の生活の中で活かしてしてもらうことを目的に開催したもので、両局で約 50 名が参加しました。

講習会は、講師として財団法人九州盲導犬協会より児嶋訓練グループ長をお招きし、「視覚障害者の交通事情」と題した講話や盲導犬に関する学習を行っていただき、その後、盲導犬「ズーニー」との歩行体験やアイマスクを使った視覚障害者疑似体験及びそのサポート体験を実施しました。

講話では、現在国内に視覚障害者は約 30 万人、それに対し盲導犬は約 1 千頭しかおらず、必要人口比率では福岡県が最低であることなど貴重なお話をいただきました。

また、2人1組での視覚障害者疑似体験では、介助者からの正確な情報提供がいかに重要であるかを学び、盲導犬との歩行体験では、白杖を使って一人で歩行を行うよりもスムーズな移動が可能であることに驚かされました。

今年は障害の中でも、「視覚障害」という切り口で、視覚に代わる移動の手段として、「手引き」や「盲導犬」の体験を行いました。受講された方々は、実際にアイマスクを着けて歩行したり、移動の手助けをすることで、視覚障害者の理解につながったことと思います。

当日の様子の写真は、次の URL からご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_61_1.pdf

(交通環境部消費者行政・情報課)

【リレーコラム】

今年はGW（ゴールデンウィーク）とSW（シルバーウィーク）の2回、5年ぶりに四国八十八カ所巡りに出かけた。

四国八十八カ所巡りは約 1,200 年前、弘法大師が自身と人々の厄払いにと 4 2 才のときに行った仏道修行の旅に起源を発するそうである。

徳島から高知、愛媛、香川におよぶ全行程は約 1,450 km で、結願後には 8 8 の煩惱が除かれ 8 8 のご利益、功德があるといわれており、徳島の第 1 番札所から、高知、愛媛を経て香川の第 8 8 番札所まで、歩いて回ると 40 ~ 60 日間、車でも 10 日間はかかるらしい。

当然のことながら、資金力と体力がない私は車で回っている。SW の巡拝で同宿の方から、歩いて 28 日間で回った人がいるという話を聞いたが、うらやましい限りの体力と精神力の持ち主である。

きっかけは、平成 16 年の GW に四国へ観光旅行に出かけた際、スタンプラリー感覚ではじめてのものである。当時、納経帳を購入し、高知、徳島の札所第 19 番 ~ 34 番を回ったが、参拝後、納経所で梵字とお寺の名前、朱印を納経帳に戴いた。お寺それぞれに特徴があり、その見事な毛筆の書体に感銘を受けたのが続ける一因となっている。

生来、計画性がない性格であるため、第 19 番札所からの出発となったが、始めたからには全部回ろうという思いのまま、転勤等で機会がなく 5 年が経ってしまっていた。

今年の GW では、第 1 番 ~ 第 18 番、第 83 番 ~ 第 88 番札所を、SW では第 35 番 ~ 第 43 番、第 65 番 ~ 第 82 番札所を巡拝した。

寺の周辺にはその地域の特性を活かした「おいしい名物」がある、第 18 番札所恩山寺「竹ちくわ」、第 29 番札所国分寺「へんろ石まんじゅう」、第 31 番札所竹林寺「竹林寺羊羹」、第 75 番札所善通寺「カタパン」、第 79 番札

所天皇寺「ところてん」等々食べ歩きも楽しめる。特に善通寺の「カタパン」はおすすめである。

来年のGWで残り第44番～第64番札所を巡拝し、高野山に参拝、結願の予定である。ご利益はなくても煩惱が一つでも取り除かれればと思っているが、信仰心もなくはじめたものであり、天罰が下らないよう願っている。

(九州運輸局総務部次長 平畑 邦孝)

【編集長だより】

月日の経つのは早いもので、いつの間にか12月になってしまいました。昔より旧暦の12月を「師走」と呼び、現在でも新暦の12月の別名としても用いられています。では、いったい「誰が走るのか」という疑問をずーと持ち続けていました。このままではすっかり年を越せないのではと、ネットで調べてみました。

説はいろいろありましたが、私は次の説が一番納得できましたのでご紹介します。

御師(おんし)が走るが語源です。では、この御師とは何者なのか。昔の人は「一生に一度はお伊勢参り」というくらいに、伊勢神宮へ詣でることに憧れ、これらの人々を伊勢神宮へガイドする職業が御師ということです。新年を迎えるにあたり古いお札を納めに行く時期が12月なのです。御師は日本最古の旅行業とも言われています。

最後に芭蕉の句を一句「何にこの師走の町に行く鳥(からす)」

さて、九州運輸局ではこの時期になると1年の締めくくりとして「九州運輸局十大ニュース」を作成します。次週号に掲載できるよう作業を進めていますのでご期待ください。皆様も自分の会社やあるいは家庭での「十大ニュース」を作ってみられたらいかがでしょうか。忘れかけていた出来事を思いだすいい機会になるのでは！

皆様のお知りになりたい情報・ご意見・ご要望等をお聞かせください。
編集部ではできる限りご要望にお応えしたいと思います。
下記のメール又はファックスからお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集長(九州運輸局総務部広報対策官)

森 益隆(もり ますたか)

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

バックナンバーは、次のURLに掲載しています。

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html